

学校教育目標	「まちに生き、自分で自分の生き方を切り拓いていける人」 ○自ら学び考え、意欲的に学習に取り組む人を育てます。【知】 ○自分や他人の生命を尊重し、大切にできる人を育てます。【徳】 ○自ら健康を保持増進できる人を育てます。【体】 ○自律心を持ち、自ら進んで、社会の発展に貢献していく人を育てます。【公】 ○広い視野を持ち、積極的に未来を創り出す人を育てます。【開】					
	学校概要	創立 0 周年	学校長 藤 至光	副校長 大谷 英輔	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 3
児童生徒数: 600 人		主な関係校: 丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	丸山台中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
「自分づくりに関する力」	丸山台小学校 下野庭小学校 野庭すずかけ小学校	○いつでも元気よくあいさつできる子ども ○自分も仲間も大切にできる子ども ○すすんで学習しようとする子ども  小中の連携を深め、授業力の向上を目指して ・授業参観および研究協議の機会を年2回設定します。 ・担当者会議を年4回設定します。 ・小中職員が一堂に会する合同研修会を年1回設定します。

中期取組目標	○教育課程の適切な運営・改善を通じて、個に応じた指導の充実を図り、確かな学力を身に付けさせるとともに、生徒一人ひとりが充実感を味わうことができる教育活動を展開します。 ○開かれた学校、地域で育つ学校を目指し、小中・家庭・地域連携を推進し、積極的に地域のボランティア活動などに参加し社会に貢献する態度を育みます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
生きて はたらく知	①「授業研究週間」を設け、「学び合う教師集団」を作り分かりやすい授業を行います。教育課程全体を通じ「自分づくりに関する力」の育成に努めます。また、個に応じた学習形態を工夫し学力を向上させるよう支援します。②図書ボランティアの支援のもと良好な読書環境を提供します。
担当 教育課程委員会・教科主任会	
豊かな心	①ボランティア行事へ進んで参加することを通して社会に役立つ姿勢を育成し、社会性を身に付けさせます。また、生徒会活動で朝の挨拶運動を行い、より良い生活習慣の定着を目指します。②特別の教科道徳のより良い実践を目指し、授業形態や授業の進め方の工夫、研究を進めます。
担当 学習活動委員会・特別活動委員会	
健やかな体	①新体力テストの結果を参考に、自己の体力状況を分析し、体力向上プログラムを考え、実践する資質を育てます。②体育委員会主催の「お外で遊ぼうDay」を通して、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育成します。
担当 体育的行事委員会	
生徒指導	①年3回の教育相談日を設け、生徒の相談環境を整えます。また生徒指導事案やきまりについて検討し、チームで組織的な生徒指導が行える体制を整え対応します。②班長会やGWTを通じて自治活動のできる集団を育てます。
担当 生徒指導委員会	
特別支援教育	①職員間で密に情報交換し、また「個別の指導計画」を適切に作成し、一貫した支援指導に努めます。教育相談を充実させ生徒・保護者に寄り添います。②学校カウンセラーや外部機関との連携をはかり、支援を要する生徒それぞれに合った学びの方法や場を検討、提案します。
担当 特別支援教育委員会	
地域連携 学校運営協議会	①保護者が授業を参観したり、行事に参加したりする機会を前期に2回、後期に3回設けます。②学校ホームページや学校だよりなどで、最新情報を提供します。地域行事への参加を生徒会とタイアップして積極的に行います。
担当 特別活動委員会・生徒指導委員会・渉外	
教育環境整備	①定期テスト前の学習相談や長期休業中の補習を行い、生徒の学習活動を支援します。また、授業についての約束事を設け、よりよい学習環境を整えたりします。②統合初年度の施設・設備の整備や利用方法等について検討を進めます。
担当 学習活動委員会	
いじめへの対応	①生徒指導と連携した教育相談や定期的な生活アンケートを実施し、いじめの未然防止に努めます。②いじめを含めた生徒指導事案が発生した場合、迅速かつ組織的に行動し、解決へ導くことに努めます。
担当 生徒指導・いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①新任教諭が経験する様々な課題を解決できるよう、コミュニケーションを活発にさせ、ベテラン教諭、中堅教諭によるOJTの充実を図ります。②中堅教諭に、各分野でのリーダーとなる自覚と力量アップを図る研修を行い、伝承と協働の充実を図ります。③働き方改革の観点から、持続可能な職場環境の整備に取り組みます。
担当 教育課程委員会	